

## 全国かるた連盟第54回総会議事録

日時：平成23年 8月12日

場所：近江神宮歓学館

開会

出欠：加盟大学の3分の1以上の出席、委任状を満たすので成立。

議長の選出

谷（会長・慶應3）：議長は私が務めさせていただきたいと思う。承認の方は拍手を願いたい。

→賛成多数で承認。

### 第一号議案 平成23年度新役員の選出について

谷：役員選出は既に決まっているが、春の段階で承認が得られなかった。そのため今確認を取る形で選出を報告する。

会長	谷 俊彦	(慶應義塾大学)
副会長	勝見 元気	(大阪大学)
	吉井 平八郎	(早稲田大学)
会計	山口 泰弘	(早稲田大学)
会計監査	浦川 知裕	(京都大学)
HP担当	植松 千喜	(慶應義塾大学)
事務局長	高橋 智将	(東京大学)
副事務局長	本多 清礼	(慶應義塾大学)
事務局員	有馬 はるか	(慶應義塾大学)
	清重 航	(東京大学)
	藤田 周也	(早稲田大学)

### 第二号議案 平成22年度会計報告

谷：平成22年度会計報告を会計の山口より報告する。

山口（会計・早稲田3）：会計資料の会計報告（別紙）に書いてある通りである。

→収支、支出の確認。質問なし。

### 第三号議案 平成23年度予算案

山口：会計資料の予算案（別紙）に書いてある通りである。

谷：予算案について質問はあるか。

→質問なし。

谷：予算案の承認を取りたいと思う。承認の方は拍手を願いたい。

→賛成多数で承認。

#### **第四号議案 大学選手権の会計報告**

山口：会計資料の収入報告（別紙）に書いてある通りである。

→収支、支出の確認。質問なし。

#### **第五号議案 連盟規則の改正について**

谷：前年度大学連盟の事務局長町田より報告する。

町田（お茶の水女子 4）：改正案は出ているが、まだ決定していないのでこの場で議論を願いたい。改正案資料（別紙）を見ていただきたい。

改正した点は資料を参照していただきたい。改正案 1、2 の違いは第 17 条だけである。

第 17 条にある役員選出方法を「総会構成員の互選」から「前任者の推薦により選出」に変更した。その中で改正案 2 は選出の対象者を加盟校在籍者に限定している。このことについて意見が欲しい。

谷：意見はあるか。

→意見なし

谷：改正案 1 または 2 のどちらの承認を得るか、決をとる。

→改正案 1 で決定する。

谷：改正案 1 の承認する方は挙手を願いたい。

→賛成多数により承認。

#### **第六号議案 平成 24 年度大学選手権開催日程について**

谷：平成 24 年 8 月 11 日（土）、12（日）の開催を予定している。8 月 1 日から 5 日まで他学校の林間学校が入っているためである。意見のある方はいるか。

→意見なし。

谷：この日程で承認の方は拍手を願いたい。

→賛成多数により承認。

#### **その他 1 大学選手権個人戦の部について**

谷：大学選手権個人戦の部について、本多より報告する。

##### ① 当日受付について

本多（副事務局長・慶應 2）：前回の第 17 回大会では当日受付を許可したために運営に支障をきたした。今回の第 18 回大会においては、団体戦の部、個人戦の部共

に締め切り後の受付を行わない。

## ② 新人戦の部について

本多：前回大会では新人の部をはじめから二つに分け、各グループでそれぞれ優勝者を出した。今大会ではグループ分けをせずに、勝ち残った 2 名を優勝者とする。また、3 位決定戦は準決勝で負けた 4 人をランダムに当てることで行う。

変更のメリットとしては 2 ブロックに分けた場合よりも力のバランスが取れ、公平感が増すという点。デメリットとしては事実上決勝戦を行わない事と 3 位決定戦の当たりの決め方が不自然であるという点である。

## ③ 個人戦の当たり方

本多：今大会では前回のような「東西」に分ける方式ではなく、「地域」によって分けることとし、2 回戦までは同じ地方の相手とは当たらないように対戦を開く。

本多：以上①から③まで承認の方は拍手を願いたい。

→賛成多数により承認。

## その他 2 団体戦裏での交流戦について

本多：前回総会で決まった通り、第 18 回大会においては団体戦の部において交流戦を準決勝の裏のみで行う。交流戦参加の有資格チームは決勝トーナメントに残れなかったチームである。希望された大学の中からそのチームにとっての初戦で敗退したチームを優先的に選ぶ。余裕がある場合は 2 回戦、3 回戦で敗退したチームから抽選を行い、最大 18 チームで交流戦を行う。交流戦参加の受付は準々決勝の間とする。交流戦においては助っ人として一人チームに加えてもよいとする。

以上意見のある方はいるか。

→意見なし。

本多：承認の方は拍手を願いたい。

→賛成多数により承認。

## その他 3 早緑・山吹の間について

本多：現状女性専用の荷物置き場になっている早緑・山吹の間であるが、今大会からは役員の控え室とし、個人戦においては第三会場とする。

質問などはあるか。

→質問なし。

本多：承認の方は拍手を願いたい。

→賛成多数により承認。

## その他 4 学生選手権の開催方法についての報告

本多：前回の総会で A、B、C 級と D、E 級とで別日開催に切り替えていくことを大学連盟

側の総意として決定した。震災の影響から学生選手権の開催自体が危ぶまれたため、実現に向けた話はまだ進んでいない。

#### その他5 学生選手権の参加者について

谷：江戸川スポーツセンターの選手収容可能人数が650人である。650人を越えた場合について議論をしたい。今のところそうなった場合は、大学生に大会参加の辞退をお願いするつもりである。このことについて意見はあるか。

森（筑波2）：大学生が辞退する場合は院生も含むのか。

町田：去年は3年生全員に役員として働いてもらった。今年は辞退させるとしたら、大学生全員ではなく、ある学年ごとに辞退をお願いするつもりである。

杉山（東大2）：辞退した選手は基本的に役員として働くということだろうか。

谷：基本的にはそうしてもらおうつもりである。

小山（鹿児島2）：辞退してもらう学年の優先順位は決まっているのか。

谷：まだ決まっていないが、役員の出来る学年2または3年が望ましい。

森：定員に達するまで人数を徐々に減らすのか、それとも一括で学年ごとに辞退してもらうのか。

谷：公平さを保つためにも学年ごとに辞退してもらおうつもりである。

谷：大学かるた連盟としては、今後学生大会の級を分けることで別日開催を目標に動くつもりである。ただし今回の第81回学生大会については人数が650人を越えた場合は大学生に辞退をお願いするという対応をする。意見はあるか。

→意見なし。

谷：承認の方は拍手を願いたい。

→賛成多数により承認。

谷：次に辞退する学年の優先順位を決めたい。連盟としては役員の仕事を把握している3年に辞退してもらいたい。意見はあるか。

清末：学生大会の夏と春共に辞退するのだろうか。

谷：まだわからない。

山口：春は3年の人数が少ない。2年も辞退してもらわないと大会の運営は難しい。

町田：春はまだ準備する時間があるので辞退以外の対応も可能である。

谷：夏は統計的にも人数が多い。まずは夏のことについて話したい。

町田：一般会に参加している大学生にも辞退をお願いするのだろうか。

谷：今の段階では一般会への告知などを考えると一般会の大学生に辞退をお願いするのは難しい。このことについて意見はあるか。

町田：そもそも一般会への告知が難しいから大学生に辞退をお願いするつもりなのである。現段階では一般会の大学生に辞退をお願いするのが難しい。

谷：人数を制限しなければいけなくなったら、大学連盟の加盟校と準加盟校に辞退を願

いするということで良いだろうか。承認の方は拍手を願いたい。

→賛成多数により承認。

谷：他に何か意見はあるだろうか。ないなら閉会にしたいと思う。

閉会